



## 岡山県合唱連盟機関紙

トウッティ 第72号

発行責任者：岡山県合唱連盟事務局長 山田 威夫

事務局：岡山市京山2-3-9-601

TEL：070-5673-1524 FAX：03-6862-9869

電話受付は留守電対応となります。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

編集者：岡山県合唱連盟事務局次長 筈尾 多美

E-mail：tamicchi@palette.plala.or.jp

# 合唱の祭典を目指して

## 岡山県合唱連盟理事長 上月 明

全日本合唱コンクール職場・一般部門全国大会の余韻がさめやらぬ間に、平成21年度を迎えました。昨年の全国大会では、岡山県合唱連盟の総力を挙げ、大会運営にエネルギーを注ぎました。おかげさまで大きなトラブルや事故もなく、立派につとめを果たすことができました。改めてスタッフの皆様方に感謝申し上げます。

さて、世の中はアメリカ発の金融不安がもとで、大変な状況になっております。なかなか心安らかにコーラスを楽しめる状況ではありませんが、こういう時代だからこそ、歌うことを通じて夢を描き、未来に希望をもって生きていくことが大切かと考えます。

平成17年度開催の国民体育大会に始まった全国大会クラスのイベントも、来年秋に開催される国民文化祭・合唱の祭典で一応の区切りがつきます。コンクールとは違い、合唱を通じて交流の輪を広げる祭典であります。これまでに開催された様子を見ると、全国から迎えた合唱の仲間を迎え、交流する機会を設けます。ホスト県としてしっかり「おもてなし」をしなければなりません。また、当日はいいコンディションで演奏していただくために、祭典の運営にも心を配る必要があります。そして何よりも、岡山シンフォニーホールで岡山発の合唱を高らかに歌い上げたいと思います。平成19年度に開催された岡山県合唱連盟創立60周年記念演奏会では、女声合唱団と男声合唱団を組織し、松下・浅井両先生のご指導で見事な演奏会が実現しました。来年秋の国民文化祭・合唱の祭典では、それらの活動の集大成として混声合唱団を組織し、岡山から混声合唱の新たなメッセージを全国に届けたいと思います。

本年度は特別な行事はありません。例年どおりの活動を粛々と進めながら、来年に向けての準備を始めたいと思います。本年度もよろしくお願いいたします。



全日本合唱コンクール全国大会を終えて

全国大会では、県連の「小豆部隊」は、あたたかな心遣いがすばらしいと、たいへんおほめいただきました。県連のみなさまにたいへんお世話になりました。

また、多くの方から温かなご協力がありました。中国支部、他県連のみなさまのご協力により、審査員席の空席を開放しなければいけないほどのお客さんにも来ていただきました。11月23日の朝日新聞の朝刊では、カラー写真で大きく報道していただきましたが、「残念ながら全国大会代表を出せなかったけれども、運営をがんばっている岡山県連を労いたい」と、朝日新聞社の方のあたたかなご配慮があったと伺っています。

小豆のように小粒な私たちかもしれませんが、みんなで仲良く協力しておいしい「おこわ」になりましょう♪

タイムテーブル通りに！

舞台部長 井内 修



全国大会のお世話をするのは、学生時代を含めると、今回で三回目になりましたが、舞台部の仕事は、初めての事なので東京大会の視察の時から不安はありました。幸いな事に

スタッフは気心の知れた鷺羽のメンバーがほとんどでしたので、事前の打ち合わせは十分に出来ました。とにかく、タイムテーブルに合わせて遅れを出さない事を最大の目標に計画をたてました。前の団体の退場を待たずに次の団体を入場させ、セティングも効率よく運ぶように組み立てました。おかげで一日目は5分遅れ、2日目はほぼ定刻に演奏を終える事が出来てほっとしました。進行部所属の機動部隊の応援がいちばんの助けになりました。他の部も含めスタッフの皆様お疲れ様でした。

スペース不足でも出演時間は守れた！

進行部長 石井 宏昌



進行部は、部長以下、誘導班44班、楽屋8名、リハーサル室3名、機動班22名の総勢78名で臨みました。十分に検討したはずでしたが、始まってみるといろいろ問題が発生し、混乱もありました。最後まで無事乗り切れたのはスタッフの皆さんの頑張りによるものと感謝しております。今回は、多人数の更衣するスペースが確保できなかったため、荷物置きのテーブルを多数準備するなど、楽屋の運用には工夫しましたが、多人数の団体が続く一般Bグループにおいて男性更衣室の満杯状態が続いてしまいました。写真撮影が遅れるなど、一部の団体にご迷惑を掛けてしまいました。何とか出演時間は守ることが出来ました。本当にお疲れ様でした。



## 岡山県合唱連盟はすごい！（涙）

### 会場部長 中川 洋子



会場部で実際に手伝って下さった方は91名です。キビキビとした態度で、又、優しい笑顔で働いているスタッフの姿はとても印象的で、全日本の三浦さんや来年度開催地の札幌視察団の方にもお褒めをいただきました。今回の全国大会に際して私が一番心配していたのはスタッフが集まるだろうか…という事でした。しかし、各合唱団にお願いしたところ、皆さん本当に協力的で「練習日ですが、スタッフ協力を練習の一環とすることにしました。」「二日間の長時間は無理ですが、何人かのリレーでお手伝いしましょう。」「前日の準備なら出来ますよ。」等々、お返事をいただいた時は涙が出ました。改めて、岡山県合唱連盟はすごい！と嬉しく思いました。感謝です。団の半分の方がスタッフ、そして半分の方が演奏を聴きに会場に足を運んで下さり、岡山大会は大成功だったと思います。ありがとうございました。

## 笑顔で対応できました。

### 接待部 次長 富田 正枝

接待部は、審査の先生方の接待を中心に、全日本合唱連盟役員の方々や、スタッフルーム、出演者の方の湯茶の接待等を行いました。3階の接待控室（湯沸し場）で準備を行い、審査の先生方の休憩場所である6階ロビーまで、前日の準備を含め、何度往復したことでしょう。審査の先生方に気持ちよく審査にあたっていただけるよう気をつけながら、笑顔で対応できたのではないかと思います。

いろいろな場所に分かれての接待でしたが、皆で連携をとりあい、協力できたと思います。スタッフの皆さん、お疲れ様でした。また、スタッフルームで紙コップを使い捨てでなく、急遽マイコップに協力していただき、本当にありがとうございました。皆さん、本当にお疲れ様でした。

※急遽、次長の富田さんに原稿をお願いしたため、写真がありません。申し訳ありませんでした。

## 雑感

### 審査部長 内田 毅



去る3月12日、元理事の鈴木悦子さんが亡くなられました。鈴木さんには私が事務局を預かっていた時代に理事としてご活躍いただきました。岡山混声合唱団を始めとして数々の合唱団に係われ、活発で白黒のはっきりとした方でした。私がしかられたことも何度かありましたが、事務局を辞してからは優しく接していただきました。60周年記念演奏会で一緒に歌ったのが最後になってしまいましたが、色々ありがとうございました。天国でも合唱団を作って歌っててください。ご冥福をお祈りいたします。

さて、先月のアンサンブルコンテストで平成21年度の県連事業は終了しました。今年は合唱コンクール全国大会という大事業を県連主催で開催しましたが、連盟の皆様方には大会運営に多数のご協力をいただきました。審査部におきましても3日間にわたって協力をお願いしましたが、神経を使う仕事をスムーズにこなしていただきありがとうございました。全国大会に限らず、すべての事業で審査部・講師部としてお手伝いをお願いしておりますが、非常に真面目に熱心に取り組んでいただけることに感謝しております。

ところで、私が再び理事会に参加させていただいて3年が経過しました。中国コンクール、連盟60周年記念演奏会、合唱コンクール全国大会と、毎年特別な事業を開催してきたわけですが、それらの事業が終わる度に、これで良かったのかと問いかけたい気持ちがわいてきます。

何に対して割りきれないものを感じているか。それは一言で言えば“責任感”ということになるでしょう。“責任感？”、私にだけは言われたくない、という方もおられるかもしれません。事実この原稿も2月のアンコン後にメールで依頼されていたようですが、メールを開いて見るでもなく、電話で依頼を受けた後も、締め切りを過ぎても送らない。送ってきた原稿は1200字の依頼が10倍もの量で、というように、どの面を下げて責任感を論ずるつもりなのかと。今回はそこそこには目をつぶっていたいただいて、話を進めさせていただきます。同じようなことを前回、前々回にも書きましたので、覚えておいででしたらお許しください。

さて、合唱連盟には理事会という組織があります。正副理事長、監事、事務局を入れると30人にもなります。では、理事会への出席率はいかほどでしょう。平均50%程度というところでしょうか。正月明けの、新年会はさらに悪くて理事は4、5人でした。この盛り上がらない原因は何でしょう。私が考えるに、責任感の欠如ではないでしょうか。年間の事業の運営に当たるのが理事の仕事で、言われたことを無難にこなしておけば2年で終わりのことでしょうか。理事としてこの連盟の運営にどう参画し、どのように盛り上げていくかという意識が感じられません。合唱フェスの後の打ち上げにしても、理事会の新年会にしても理事の方々の参加が余りにも少ないのです。理事会の新年会に無理して出て行っても、昔話に花が咲いてその世代の人以外は話に入りにくいのも事実なのですが、そこに出て行って新しい風を吹き込んで欲しいと願っているのですが、しかし欠席しても咎められるわけでもなく、次回は全員でと諭される訳でもありません。何事もなかったかのように淡々と時間が経過していくのです。

連盟に加盟されている各合唱団はどうでしょうか。皆さん、“権利”は行使されていますか。合唱フェスティバルに、コンクールに、おかあさん大会に参加されていますか。では“義務”は果たされていますか。連盟会費、団員登録料はもちろん完納されているでしょう。それぞれの大会に参加するときの参加料、チケット負担等もバッチリ納めておられるでしょう。それ以外の事業で送り付けられるチケットはどうされていますか。昨年でしたら全国大会のチケット及び広告のお願いをしていますがどうされましたか。そうそう、ハーモニーの購読義務は果たされていますか。事業が運営上成功であったかどうかは入場者が多かったとか、収支が赤字にならなかったということだけで判断するべきではありません。その事業を運営するに当たって、連盟が一丸となることができたかどうかで判断するべきだと思っています。連盟の運営にしても、それぞれの事業に加盟合唱団の皆さんが関心を持つことができたかどうかが大切なのです。

皆さんは自分達がその事業に参加しないとき、チケットなり整理券が各団体に配布されますが、どのように対応されていますか。団内でPRしていただけていますか。それらの連盟事業に聴衆として参加していただくことも重要なことだと思います。アンコンの会場で思ったことは、なぜホール内よりはホールの外の人が多いのだらうということです。扉一つ開ければ仲間たちが演奏しているのに、それを聞こうともしないという状況は大いに問題があると思いますね。

だらだらと長くなってしまいましたのでこの位で終えたいと思います。事務局からは1200字でとされていたのですが。

# ぴよぴよ ひよこ 通信



今後の行事予定をチェックしてください!

### 平成 21 年度予定行事

- H21. 4. 12 定例総会 (県立図書館多目的ホール)
- H21. 5. 23~24 岡山県春期合唱講習会 (23日: 高梁文化交流館/高梁市  
24日: 岡山市民文化ホール/岡山市)
- H21. 6. 7 第 62 回岡山県合唱フェスティバル (岡山シンフォニーホール)
- H21. 7. 12 第 32 回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会 (岡山市立市民文化ホール)
- H21. 8. 9 第 62 回岡山県合唱コンクール (岡山市立市民文化ホール)
- H21. 9. 19~20 第 48 回中国合唱コンクール (広島国際会議場フェニックスホール)
- H22. 1 プレ国民文化祭
- H22. 2. 7 第 17 回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト (総社市民会館)

### 平成 22 年度以降の予定行事

- H22. 10. 31 第 25 回国民文化祭~合唱の祭典~ (岡山シンフォニーホール)

## 第16回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト開催

— 第2回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 出場団体 決定! —

2月8日、総社市民会館で開催した第16回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストで、3月20~22日、福島市で開催される第2回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場する団体が推薦されました。グランプリは、キューティートミイが受賞しました。優秀賞は下記のとおり。ジュニア・中学生・高校生が大活躍でした。

部門	団体名	優秀賞	全国
重唱	密会	○	△
ジュニア	高梁市立高梁中学校合唱部	○	中学
	倉敷少年少女ジュニア	△	一般
女声	Jotorigirl♪	○	△
男声	ルーチェ・カンツォーネ	○	△
混声	キューティートミイ?	○	高校

永年県合唱連盟の理事をつとめられ、維持会員でもあった鈴木悦子さんが、さる3月12日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

## Tutti の発行時期について☆☆☆☆☆

事務局内で話し合い、年4回の発行を下記のようにします。原稿の締め切りなど、ご協力くださるようお願いいたします。

- 4月 定例総会で配布
- 7月 おかあさんコーラス大会で配布
- 10月 理事会に合わせて発行・配布
- 1月 臨時総会に合わせて発行・配布

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### ～ お願い ～

行事予定の問い合わせが数件ありました。日時・場所がきまり次第、岡山県合唱連盟のホームページにアップしています。またTutti(4面上部)に常時掲載しているので、ご活用ください。

<http://www.geocities.jp/jcaokayamahome/index.htm>

## 学生から社会人「合唱連盟に入って」

岡山県合唱連盟 事務局 西山 隆幸

大学生時代は大学の合唱団に所属し、合唱連盟の運営する各種のイベントにただ参加する立場でした。団のマネージャーが理事会や打ち合わせに出向いているのは知っていましたが、他の者は合唱フェスなどに参加し、学生の合同演奏を歌い、連盟の打ち上げで飲むのが関の山でした。

それから大学を卒業し、1年程は仕事に集中するため合唱を中断、市民合唱団への復帰を経て昨年、合唱連盟の事務局員として運営に参加することとなりました。予想はしていましたが仕事多いですね! イベントの前には理事会が開催され、メール上にはマニュアルや会計清算が飛び交う。イベント当日には各合唱団からの協力者を集めて手筈説明、エイエイオー。イベント中も問題がないか巡回し、トランシーバーも時折鳴ります。事後処理や来年への引継ぎも大事ですね。大勢の方の経験と知恵と協力で合唱界が成り立っているのがよく分かります。

そのお陰で、合唱フェスでは「岡山シンフォニーホール」という、各団単独では中々使用できない素晴らしいホールで歌え、他のイベントでも「団員が少なく演奏会が開けない」団体の貴重な発表の場になっていることも耳にしました。何より、自分の団だけで小さくまとまりがちな殻を破り、他団の演奏を聴いて刺激を受け、こんな演奏の仕方もあるんだ! と可能性が広がることもあります。実際、合唱フェスをきっかけにジョイントコンサートが開かれる予定もあるようです。

マネジメントも合唱の貴重な要素。今後も微力ながら合唱界の発展に向けて勤めたいと思っています。そして願わくば、今の学生層が新社会人になっても仕事にかまけず(?)、合唱を楽しみ続けて欲しいですね。

次号の発行: 7/12 ⇒ 原稿締め切り: 5月末

昨年は発行ができず、申し訳ありませんでした。Tuttiはパンクしました。仕事が忙しくなった上に、原稿催促や写真撮影などコントロールできなくなり、緊張で作れなくなってしまいました。

山田事務局長が仕事を整理してくださって、これからは、西山事務局次長も作成部員となります。

いろいろお願いすることもあるかとおもいますが、どうかよろしくおねがいします。

〒703-8204

岡山市雄町487-1 筈尾 多美

E-mail: [tamicchi@palette.plala.or.jp](mailto:tamicchi@palette.plala.or.jp)

F A X : 086-279-8211